



町に関する話題やイベントなどイメージアップ戦略係が取材したできごとをご紹介します。

注目浴びる緊張のなか 堂々の演奏

九州吹奏楽コンクールで広安西小吹奏楽部が銀賞受賞

8月19日、第61回九州吹奏楽コンクールが福岡サンパレスで開催され、県予選で代表となり出場した広安西小学校吹奏楽部が銀賞を受賞しました。

震災の影響で十分に練習できなかったという部員たち。本番では、益城町ということで大きく注目を浴びる緊張のなか、逆に注目度をやる気に変えて力強い演奏を披露しました。

部長の平田毬子ひらたまりこさん(6年)は、「支援していただいた方々に感謝の気持ちを込めて演奏しました」と笑顔で話しました。



町長室に結果報告に訪れた皆さん



グループで考えた「夢のまちプラン」を発表する子どもたち

アイデア詰まった夢のまちづくり

子どもまちづくりリーダーツアー報告会で発表

(公財)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが、町の復興計画策定に子どもたちが参加できるよう開催した「子どもまちづくりリーダーツアー」に小中学生23人が参加。震災後の暮らしで困った経験などを通して、解決策や自分たちに何ができるかを話し合い、「夢のまちプラン」としてまとめました。

8月27日には、JAかみましき益城総合支所で報告会を開催。「地域全員でつくるまち」、「日本一安全に暮らせるまち」など、アイデアが詰まった夢のまちづくりを発表しました。

多彩な催しに わくわくうきうき

災害支援イベントに子どもたちの歓声響く

町文化会館で9月18、19日、ボランティアなど17団体の協力によりミニ4駆や移動マンガ図書館、迷路などの災害支援イベントが開催され、親子連れなどでにぎわいました。

魚などの塗り絵をスキャンすると大型3Dスクリーンに映った海底で泳ぎだす「海のお魚大冒険」では、画面に手をあてると餌や宝箱が出てきたりする仕掛けに子どもたちは大はしゃぎでした。また、ミニ4駆コーナーでは、自慢の車を競争させたりするなど、夢中になっていました。



3Dスクリーンの中で泳ぐ自分の魚を探す子どもたち



飯野小学校で贈呈を行った青木委員(写真中央)

みんなでいろいろな勉強に使ってね!

プロゴルファーらが電子黒板を小中学校に寄贈

8月21日、プロゴルファーら著名人で構成する「ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメント」実行委員会が、町内の小中学校7校に70インチ型の電子黒板を寄贈しました。

また、贈呈式の前には、青木功あおきこうさんや津森小出身の永野竜太郎ながのりゅうたろうさんらプロゴルファーが飯野小体育館でスナッグゴルフの体験会を開催しました。子どもたちは、初めて体験するスナッグゴルフに戸惑いながらも、プロの優しい指導のもとナイスショットを放つと、思わず笑顔がこぼれていました。